



豊福 政則

Masanori Toyofuku

華やかな岡山パリ祭2024の
ステージ (写真中央は豊福さん)



エスパス混声合唱団
で歌う豊福さん

豊福 政則さん (福田)

美作市出身。就職をきっかけに真庭市へ。現在は北房こども園に勤務。エスパス混声合唱団ではテノールを担当している。実体験から「努力は裏切らないこと」「周りの人の声にも耳を傾けると、人生はとでも豊かになること」を子どもたちにも伝えたい。

真

MANIWA BITO

庭人

エスパス混声合唱団との出会い

7月14日に岡山芸術創造劇場ハレノワ中劇場で開催された、シャンソンの祭典『岡山パリ祭』。そのステージに、市内で保育教諭として働く豊福政則さんが出演しました。豊福さんは、18年ほど前からエスパス混声合唱団で活動しており、「合唱団に入ったのは、居心地が良かったのと、仕事にも生かせると思ったのがきっかけです。歌い方も声の出し方も一から教えてもらいました。ここまで自分を育ててくれた大事な場所です」と話します。

ミュージカルとシャンソンへの挑戦

合唱団で経験を積み、周囲から歌声を褒めてもらうことが増えて少しずつ自信がついたという豊福さん

んは、一昨年、ミュージカルに初挑戦。その時の共演者から岡山パリ祭のオーディションに誘われたそうです。シャンソンは初めてで迷いもあったと言いますが、「岡山パリ祭の実行委員長もしているシャンソン歌手の方が、僕の歌声を聞いて、Mon Dieu (モン・デュー) という曲を紹介してください。すぐく自分にしっくりくる気持ちいい曲で、歌ってみたいと思いました」と挑戦を決めたそうです。

迎えたオーディション当日。直前練習では一度も通してまともに歌えず、緊張と不安でいっぱいだったそうですが、「周囲から温かい声も掛けてもらい、せっかくの機会を大事にしたいと思って臨んだら、どうにか最後まで歌うことができました」と話します。オーディションの結果は、なんと優勝。岡山パリ祭本番のステージへの切符を手に入れました。「びっくりし

ました。優勝したうれしさ以上に、自分の努力が報われたこと、賞をいただけるような歌唱ができたことがうれしくて、ほっとしました」と話します。

これからも歌を届けていきたい

「きつと今が挑戦時、また一つ可能性を広げられる時だと思ってるんです」と豊福さん。「仕事と合唱団の活動は続けながら、これからもミュージカルやシャンソンに挑戦し、歌を届けていきたいです」と笑顔で話してくれました。



「まにわびと」
55
2024